



賢く 優しく 逞しく

10月号・令和6年10月1日発行

本校URL <http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/> 武蔵村山市立第五中学校

「目標」の先にあるもの

校長 榎戸 千代子

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、長かった猛暑もお彼岸を境に落ち着き、秋らしい季節となってきました。四季の味わいをつづった清少納言の『枕草子』の第一段、「春はあけぼの。～」では、「秋」は「夕暮れ。」から始まります。途中は省略しますが、後半の部分では、原文を訳すと「日がしっかり沈んでしまったあとに、風の音、虫の音などが聞こえてくるのは、言うまでもなく趣深いものがある。」と書き記しています。秋の夜長に耳を澄ましていると、風の音の響きや虫の音の大合唱が聞こえてきます。作者の清少納言は、現在テレビで放映している大河ドラマ「光る君へ」の中にも登場する女性で、平安時代に一条天皇の中宮（妃）定子に仕えた人物です。千年以上前の文章なのに現代でもなるほどと共感するところが多く、最古の随筆として歴史に残る素晴らしい作品だと思います。

さて、話は変わりますが、米大リーグ・ドジャーズの大谷翔平選手が快進撃を続け、記録を塗り替えました。9月19日（木）（日本時間20日）にメジャー史上初の50本塁打、50盗塁を達成し、その後も「54・59」まで伸ばしました。「うれしさと安堵と、それと同時に、記録を作ってきた先輩方をリスペクトする気持ちで、今はいます。」と、「50・50」を達成した試合後に思いを語っています。また、「ホームランは狙ったら出ないものだと思うので、本当に自分のいい打席を積み重ねていくのが一番の近道」とも語っています。大谷選手にとって最も重要なことは「チームの勝利」です。そのために厳しいトレーニングを積み、入念な準備をしています。本塁打や盗塁も、それ自体が目標ではなく、「チームの勝利」のために、全力を尽くしてきた結果です。この日は、ドジャーズのプレーオフ進出も決まりました。大谷選手にとっての目標は、メジャーに来てからずっと夢見ていたプレーオフに進むこと、そして、その先にある「世界一」を目指しています。目標突破に向けて努力することはもちろんですが、その先にあるものを意識して取り組むことの大切さを教えられたような気がします。

ところで、3年生は9月16日（月）から18日（水）まで、京都・奈良方面の修学旅行に行ってきました。出発前の学年集会で私が話した、「お世話になる方々にあいさつをする」や「部屋のスリッパをそろえる」、「使ったところをきれいにして帰る」は、とてもよくできました。今回の修学旅行は、1年生のスキー移動教室や2年生の校外学習で積み重ねてきた宿泊や班行動の集大成でした。2年半で身に付けてきたことは、達成されたのでしょうか。事後の反省をしっかりと、卒業まで残り半年間の生活に生かしましょう。



また、2年生は、9月18日（水）から20日（金）まで、職場体験を実施しました。体験先では、人と接する機会も多く、働くことの意義や厳しさ、責任の重さなど様々なことを教えていただきました。事前学習では市内の事業所を調べ、「まちづくり学習」につなげることもできました。貴重な時間を割き、体験場所を御提供いただいた事業所の皆様に感謝申し上げます。10月を迎え、各学年での生活も折り返しとなりました。学校行事で学んだ体験や経験をさらにその先にある将来の夢や希望につなげられるように日々を大切に過ごしてください。

明るいあいさつ・みんなの笑顔

第五中学校区（二小・八小・十小・五中）